

第11回米原市定例教育委員会

日 時：平成24年11月15日
午後3時00分開会
場 所：山東庁舎別館 3階
第2委員会室

(出席者)

教 育 委 員：稲村委員長 河居委員長職務代理者 小路委員
瀬戸川教育長

教 育 部 長：川幡部長

教 育 総 務 課：岩脇課長 山田課長補佐

学 校 教 育 課：中島課長

生 涯 学 習 課：山田課長

こ ども元気局：坪井局長

東部給食センター：西村所長

図 書 館：小北館長

書 記：田 中

1 委員長あいさつ

- いよいよ秋が深まってきました。10月から11月はスポーツの秋、芸術の秋ということで、いろんな取組がなされているわけですが、子どもにとってはスポーツや歌の得手不得手がありますが、各学校それぞれ工夫をさせていただいているのではないかと思います。毎年の行事を形どおり行うのではなく、新しい試みをやっていただくのも大事だと思います。大東中学校のお子さんが伊吹山に登って人文字で「大」という字を書いたと新聞に載っていました。学校だけでなく地域への情報発信も大変大事なことではないかと思います。
- 学校公開週間、道徳公開授業など、保護者等、地域の方が学校に来ていただく期間を設定していただいています。開かれた学校経営の一環として行っていると思いますが、実際に各学校でどのくらい来ておられるのか、保護者、学校評議員を含めてどのような思いを持たれたかをまとめていただいて聞かせていただけるとありがたいです。先日の教育委員の県外研修の分科会において、学力の問題では小中一貫してのルール作りという先進的な取組をされているという話を聞きました。米原市では学力の定着に向けて取組をされていますが、小中一貫しての取組はなされていないと思いますので、そういった視点で学校訪問の時にお話を聞かせていただくと良いかと思います。

2 事務局からの報告

【教育総務課】

岩脇課長より概要説明

【学校教育課】

中島課長より概要説明

【生涯学習課】

山田課長より概要説明

【こども元気局】

坪井局長より概要説明

【給食センター】

西村所長より概要説明

【図書館】

小北館長より概要説明

委員：問題行動の報告で、8月31日に起こった事件が10月2日に把握というのは報告が遅れたのではないのですか。

事務局：「把握」は学校が把握した日です。子どもへの聞き取りの中で、事件の日が分かったというものです。

委員：校園長会で、いじめ等対策推進本部の設置について説明をされたそうですが、校長先生方から意見や質問はありましたか。

事務局：校園長会では特にございませんでした。教育センターの中の生徒指導部会の小学校部会長、中学校部会長の先生にいじめ等対策推進本部に入っていただくので、今までであったものが引き続いていって、それに行政の方との太いパイプができるというもので、特に報告回数を増やす等の変更はありません。

委員：警察組織が入ってくる部分についてはどうですか。

事務局：米原警察署の生活安全課の対応は学校本位に考えていただけるようになりました。生徒が教師に暴力をふるった事件がありましたが、被害届を出す前に警察の方で十分相談をする。被害届を出さなくても警察の方で指導を行う形を取っていただけるなど生徒指導について抑止力という事をよく考えて対応していただけるようになりました。

委員：成人式は、例年どおり、実行委員会として成人される方がスタイルを考えることになりますか。

事務局：実行委員がスタイルを考えることになっていますが、大体例年どおりのスタイルになります。

委員：市長トークでは放課後児童クラブについて、具体的にどのような意見が出ましたか。

事務局：子ども達の姿が以前と大きく変わってきている。家庭の事情で定員がかなり増えて

きたのと特別な支援を要する児童が増えてきたので、指導員の配置を含め、環境を整えてほしいという意見がありました。任意の放課後児童クラブが、法的な支援制度に変わりますので、米原市としても市長に現状を汲んでいただいて今後の対応を進めていきたいと考えています。

委員：先生や事務員など職員間でのセクハラ・パワハラの問題はありませんか。

事務局：今のところ学校からの報告はありません。

委員：図書館のブックスタートは何歳からですか。

事務局：10 か月健診の時に案内をしています。

委員：ブックスタートの立派な袋が活用されていないようです。活用できるような良い方法はありますか。

事務局：図書館に来る時に利用していただいている方もあります。

委員：いじめ等対策推進本部の第1回の会議の予定は。

事務局：11月21日に予定しています。

委員：いじめを把握するのに、2か月もかかっていることがある。見えるいじめと見えないいじめがあり、早期発見、早期対応が必要ですが、学校での対応に問題はありませんか。

事務局：8月31日の事案の後にも他の女の子の体を触るという事案があつて、10月2日に対応が始まったと表現をさせていただきましたが、性的な部分に関わつての事案で1か月での発覚は逆に言うとも早く見つかったのではないかと思います。子どもの日誌、普段の様子を観察、カウンセラーや養護の先生に訴えてくるということで発覚してくるのですが、今後も十分に注意していかなければならないと思います。

委員：いじめ問題での指導や把握の難しさですが、学校生活で嫌なことを身近な人に相談する体制や指導の問題が気にかかります。資料では、中1の秋に問題行動が多く起こっています。学校が荒れる前兆になってくるといけないので、先生方に気をつけていただきたいと思います。いじめ等対策推進本部の最初の会議では、米原市の状況をどの程度話をされる予定ですか。

事務局：県へ報告しているいじめの事案について、学校名や氏名は伏せさせていただきますが、具体的な事案として報告させていただいた上で、警察、学校での対応、特別な支援を要するカウンセラー的な部分について考えていきます。いじめにとどまらず、虐待、家庭の問題についても彦根子ども家庭相談センターの御指導を受けたいと思っています。

委員：件数だけの報告ではなく、具体的な事案についての会議であれば実のある話は出来ると思います。定期的開催していただいて、子ども達の抱えている問題について意見交換、協議を重ねていただきたいと思います。いろんな関係機関との連携を深める場になればと思います。避難訓練を各学校いろいろ工夫して実施しておられます。細かく状況を設定して緊急地震速報を受けての子ども動きを考えた避難訓練

をやっておられます。

委員：掃除の時間や休憩時間に訓練を実施して、子どもの動きをビデオ撮影して検討している学校もあります。

3 議題

議案第56号 平成24年度米原市一般会計補正予算(第7号)について 【各 課】

委員：スクールバスのカーポートは番場に設置するのですか。

事務局：番場の児童のバス停留所を保護者の方に最終決定していただいたので、市が提案していました番場の入口の加圧ポンプ場にカーポートを設置し、雨天の時などに、その下で待っていただけるようにします。

委員：給食センターの電気代は、1日電力オーバーしただけで1年間その最大電力で料金がかかるのですか。

事務局：洗浄機が故障したので、修理と洗浄機の稼働で1日中電気を使用したところ、通常1日400キロワットが530キロワットになりました。契約により1年間最大電力の530キロワットで料金計算がされます。

委員：電力会社と交渉はされましたか。

事務局：交渉しましたが駄目でした。

議案承認

議案第57号 米原市体育館施設条例および米原市使用料条例の一部を改正する条例について 【生涯学習課】

議案承認

議案第58号 後援等名義使用承認について

【協議案件】

○ まいばら入江干拓マラソン

【生涯学習課】

委員：米原周辺の開催だと、どの程度の規模ですか。

事務局：距離としては、2.17キロ、5キロ、10キロのコースになっています。

委員：お市マラソンはたくさんの応募があるそうですが、そこまでは思っておられないのですね。地元の方を対象とされるということですか。

事務局：お市マラソンは4000人規模です。500人規模で考えています。

委員：名称については、いろんな案があったのですか。

事務局：名称決定の経緯については、生涯学習課は入っていませんので分かりませんが、干拓資料館が近くにありまして、この地域が干拓地なので、この名称にされたと認識

しています。

委員：たくさんの方に参加していただき、米原市のイベントとして育って行くと良いですね。

後援承認

4 その他

○（仮称）米原市こども条例（案）の概要について

【こども元気局】

委員：生活環境のバリアフリー化は子どもに必要ですか。そこまで抵抗のない子どもに育てて良いのでしょうか。最近中学生の医療費の無料化の話を聞きますが、無料化によって親の病気に対する判断力が落ちているのではないかと思います。親の庇護がなければ生きていけない子を育ててしまっただけでは意味がない。強い子に育ててほしいと思いますので、私は疑問です。

事務局：取組としては推進を図るような表現となる。予算との整合性を取りながら計画的に推進を図っていく。医療等については、モラルハザードの起きる可能性があると思いますので、十分な周知・啓発を行って対応していくべきとの認識を持っています。

委員：小学生でも読めるレベルの条文にさせていただけるとありがたいと思いますが。

事務局：先進地事例では、本体の条例を子ども用に置き換えて易しく作っているまちもあります。時間をかけて作っていくのも一つだと考えています。

委員：学校の教材に使えるような物にさせていただけると良いと思います。

事務局：市では、「みんなにわかるまいばら予算」を小学5年生が理解できるように作成していますが、年々難しくなっています。

事務局：表現は“ですます調”にしたので、学校の教材に活用いただければ子どもの意識も変わってくるのではと思います。

事務局：議会の会派説明会では、子どもの成長の度合いは違うので、乳幼児から18歳まで、すべからず条例に入れるのはどうかという意見をいただきました。

委員：大人になっても絶対に持ち合わせていなければならないような内容が書かれていますね。

事務局：これを家庭教育においてどう理解してもらうかが課題だと思っています。甘やかすばかりで良いのかという話もありますし、家庭での子育てのスタンスを親がどう思うかによっても変わってしまいます。

○（仮称）近江認定こども園施設建設工事について

【教育総務課】

委員：テラスを裏の方に作る意味は。

事務局：グラウンド側から裏へ廊下を渡って行けるようにしています。3歳児の各部屋から

も行けるようにしますので、一旦テラスで靴を脱いで、室内に泥が入るのを防ぐために設けています。また、フェンスの向こう側にある川で遊ぶ時に、先生が子どもを連れて出られるように設けています。

委員：テラスに雨や風が入ってきて汚れるような造りになっているのは良くないと思います。テラスの耐用年数、傷み具合がひどくなるのではないですか。

事務局：市内の幼稚園で全てを覆う造りのテラスはありません。テラスについては、どこからでも出入りができる形を考えています。耐用年数的には山東幼稚園が木造ということもあり、平成22年にテラスの修繕を行いました。近江こども園については、現在構造計算に入っている段階で、材質等は決定していませんので、材質等が示されましたら耐用年数も加味して考えたいと思います。

委員：グラウンドの1,400平方メートルという広さは、どの程度ですか。

事務局：運動会の開催は無理と考えています。子どもだけなら十分ですが、保護者が集まると無理です。

次回

第12回定例委員会 12月21日（金） 午後2時00分～
山東庁舎 3階 第2委員会室

以上をもって 第11回定例教育委員会を午後5時25分に終了した。